

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

ヒューメインなサービスインダストリーの創出

3. 研究開発課題名

香りの機能拡張によるヒューメインな社会の実現

4. 研究開発代表者名(機関名・職名は評価時点)

東原 和成(東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授)

5. 評価結果

香りの複雑性故に指標化も設計技術も未確立、という産業化の障害を打破し、個人差も含めた食、生活空間で求められる香りの設計技術を確立するというターゲットは明確である。

また、ターゲット達成の為に嗅覚メカニズムと香りの脳活動や生理情報への影響の可視化など、競争力の源泉となる機序解明や技術確立が適切に予定されている。合わせて、世界の食糧不足や高齢化社会等の社会課題に伴う、成長率が高く、規模の大きな関係市場をターゲットと出来ることは競争性も含め優位性があり、事業化の展望を有している。更に、嗅覚受容体と香りの関係のデータベース化は大きなブレイクスルーに繋がるとの説明およびそのサービス事例は妥当である。

今後はビッグデータ・AI 研究と合わせ、更なる広範な産業における優位性を確保してほしい。参画企業のビジネスモデルも野心的かつ魅力的な提案であるが、世界のプラットフォーマーに勝るようなコンソーシアムとしての戦略性なども検討されたい。

以上